

2024年度 長崎県五島市との保育環境を通した地域交流プロジェクト

建築・デザイン学部 建築デザイン学科 藤本ゼミ
家政学部 児童学科 白川ゼミ

目的

本学は2022年7月に、長崎県五島市と連携協定を締結した。五島市は交流人口拡大及びSDGsへの貢献・地方創生・地域振興を目指している。本プロジェクトでは東京の女子大学生目線で五島市の魅力を調査し、かつ五島市が直面している課題を導き出し、課題解決の提案を行うものである。

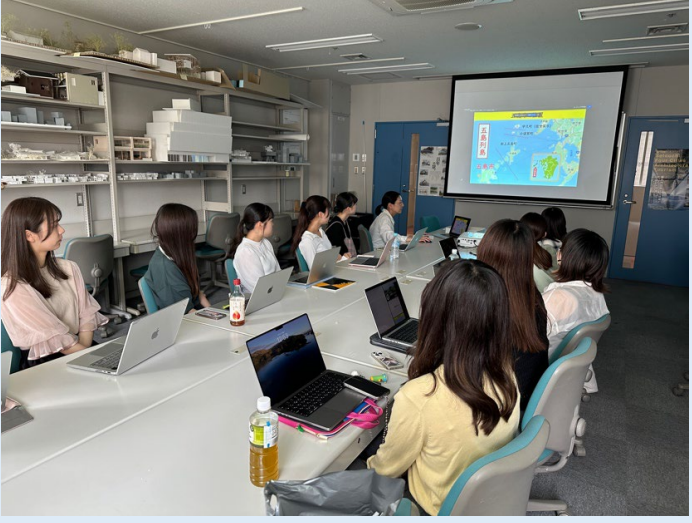
具体的には「五島市の教育を中心とした生活空間を向上させる」ことを目標に、8月21日から23日の3日間、五島市と奈留島へ訪問した。藤本ゼミと白川ゼミが互いの専門分野の視点から、五島市の教育空間の現状と課題を議論し合い、活動を進めた。

プロジェクト内容・結果

五島市とWEB打ち合わせ
日程：6月6日
五島市 政策企画課 佐藤さん
こども未来課 田道さん
東京事務所 山本さん

世界遺産WEB講義
日程：7月11日
開催時間：13:30-15:10
会場：共立女子大学10階
プロフィール
職員名：松崎 義治さん
所属：五島市地域復興部 文化観光課
課長補佐権文化保存活用班班長

奈留島世界遺産ガイダンスセンター
日程：8月22日(合宿2日目)
江上天守堂の柱と装飾帯の原寸大模型や信者が所蔵していた信仰具など、貴重な資料を展示している。



＜奈留さくら保育所＞
所在地：五島市奈留町浦1225番地1
面積：242.63㎡(保育スペース)608.27㎡(園庭)
運営：五島市(五島市社会福祉協議会)
定員：19名(小規模保育事業所)

2024年4月から
奈留小中学校へ移設

＜学校への移設を決定した理由＞
①幅広い年代の子どもが交流することで思いやりの心を育むなどの効果が期待できる。
②幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続することができる。
③奈留島独自の一貫教育として、「しま」ならではの保育環境が整備できる



五島市役所の方に協力していただき、Googleフォームで35人の方を対象にアンケートを実施した。

五島市、奈留島の良いところでは、ほとんどの人が「自然が豊か」を選択していた。また、今後も海や星空など「自然の豊かさ」を魅力として伝えていきたいと回答した人が多くいた。改善点では、娯楽施設や医療機関の不足を挙げている人が多く見受けられた。

五島出身者 or 移住者 or Uターン

五島生まれ育ちの方 移住した方 Uターンした方

73% 17% 8%

奈留島
中高生 or 保護者 or 保育者 or 教師

中高生 保護者 保育者 教師

33% 33% 17% 17%

五島市の良いところ

自然が豊か
食材が豊富
子育て環境が充実
教育環境が充実
世界遺産登録の地
人との繋がりが強い
その他

奈留島の良いところ

自然が豊か
食材が豊富
子育て環境が充実
教育環境が充実
人との繋がりが強い
その他

五島市内に娯楽施設は充実しているか

はい いいえ

10% 88%

奈留島内に娯楽施設は充実しているか

はい いいえ

12% 83%

五島市で取り入れたい施設やサービス

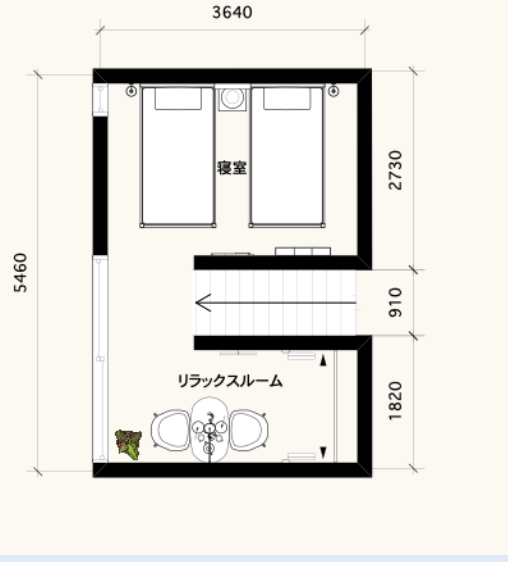
遊園地
複合施設
映画館
図書館
飲食店
カフェ
カラオケ
温泉
その他

奈留島で取り入れたい施設やサービス

遊園地
複合施設
映画館
図書館
飲食店
カフェ
カラオケ
温泉
その他



1F 地元の食材を使った子どものための食堂



2F 夫婦が落ち着けるプライベート空間



五島市では、近年空き家が増加している傾向にある。そのため、空き家バンクへの登録を促進させるための施設を提案し、模型も作成した。

奈留島で見学させていただいた「奈留しまなび舎」の子どもが集う居場所を参考に、放課後や休日に子どもの居場所となるよう、食堂や農業体験を運営する施設のリノベーション案を作成した。

現地では、実際に現地で空き家調査を行うことで、空き家の現状を見ると共に、空き家バンクスタッフの方へのインタビューを通して、五島市の空き家の現状を知ることができた。

五島展

2025年1月22日から24日の3日間、共立女子大学2号館コミュニケーションギャラリーにて「五島展」を開催した。

合宿での体験や学びをもとに展示を行い、来場者の方に五島列島の魅力を感じていただくことができた。展示パネル横に感想を書くコーナーを設け、「五島市へ足を運んでみたくなった」「施設の提案から、空き家への価値を生み出す希望を感じる」などの感想をいただいた。



感想

五島市との地域連携により様々なことに挑戦できたゼミ活動であった。五島市の教育空間の現状と課題を、保育士の方や教師の方へインタビューを行い、五島市内の方にもアンケートを行うことで、五島市の生の声を聞くことができ様々な学び・経験となった。五島市の課題を探究しながら調査したことで、多角的なアプローチをすることの大切さを学んだ。

五島市の課題に向き合ったように、各地域が抱える課題に目を向けながら、今回学んだことや経験を今後の研究に活かしていきたい。

謝辞

本プロジェクトを行うにあたり、大変お世話になりました五島市の御関係者の方々に心より感謝申し上げます。本プロジェクト学内の御関係者の皆様に多大なるご助力を賜りましたこと、御礼申し上げます。